

特集

ケアプロセスを改善し、患者中心の医療を実現するための
新たな質指標

ペイシエント・エクスペリエンス

ペイシエント・エクスペリエンス（PX）は、患者中心の医療を実現するためにイギリスで生まれた考え方です。日本語では「患者経験価値」と訳されます。PXは、「患者が医療サービスを受ける中で経験する全ての事象」と定義できます。従来の医療では、医療技術の高度さや確実性に加え、接遇等のサービスレベルを高め、病気を根治させることで患者満足度を向上させてきました。しかし医療の目的が病気の根治から患者のQOL実現へ移行していく時代の流れに伴い、これまでの患者満足度の考え方だけでは患者のニーズの多様化に応えることができなくなっています。

これからの医療では、1人ひとりの患者の持つゴールや価値自体が正解とされ、そのゴール・価値に合わせた医療サービスの提供が求められます。

PXは、1人ひとりの患者に最適な医療サービスを提供するために生まれた考え方であり、今後の日本の医療が目指す方向性と合致していると言えます。

本特集では、個別化医療、社会の価値観の多様化の流れに合致するペイシエント・エクスペリエンスの全体像と意義を紹介するとともに、病院全体の実践活動としていくための考え方を国内・海外の先駆的活動から提示します。

ペイシエント・エクスペリエンスとは何か ● 曾我香織／安藤潔／藤井弘子

先駆的实践事例 ● 西本祐子／引田紅花／後藤俊男

海外の医療機関におけるPX推進 ● 近本洋介

【座談会】日本でのPXの展開と展望

● 青木拓也／石井尚美／講内源太／古川幸治／曾我香織

PX推進に必要な人材育成

編集後記

▶ 今号の特集テーマは「感染対策」です。臨床的なテーマですが、30年ほど前の雑誌創刊第4号でも「院内感染防止のための看護マネジメント—MRSAにどう対処するか」という特集が組まれるなど、その時代時代に特徴的な「感染対策」の記事が掲載されています。今回は「薬剤耐性（AMR）時代」にスポットを当て、新しい潮流を紹介しています。▶ 個人的な話ですが、看護の編集部には配属となり最初に取材したテーマが「感染管理」。その頃は院内感染対策が盛り上がっていた時期で、手指衛生など病院内での感染拡大の防止に主眼が置かれていました。しかし現在では、免疫機能が低下した高齢患者さんが病院や施設の入退院を繰り返す、海外からの人の移動も活発になるなど、リスクはますます増えています。自施設の取り組みだけでは安心できず、他施設や地域全体で協力し、感染症・耐性菌に対応することが必要です。専門部署やICNなどの担当者任せではなく、病院全体に取組みが広がることを期待しています。（石塚）

▶ 東洋医学では身体に悪影響を与える自然界のエネルギーを邪気と表現し、湿気による邪気を「湿邪（しつじや）」と呼ぶそうです。今年の長梅雨はまさしく湿邪という感じ。ほんとと参りました。▶ そして一転して7月末からの酷暑。私は北国の出身で、梅雨と酷暑にはいまだに慣れません。来年の今頃は東京五輪ですが、開会式（7月24日）ではまだ梅雨明けしていない可能性があり、競技が本格化する頃に酷暑が襲う。読者の皆さまの中にも看護師として五輪に関わる方がいらっしゃるかもしれません。競技者も運営側も観客も十分な健康管理が必要と感じます。▶ 五輪期間中にリモートワークや在宅勤務を実施予定の大企業も多いと聞きます。何かしらの「異常気象」が毎年起こる今の日本。「現代版・晴耕雨読」として、職員の健康管理や生産性の向上のために酷暑など激しい気象の時期にはリモートワークを可とする、といった視点も必要になっている気がします。（小齋）

看護管理 第29巻第9号

2019年9月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2019, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2019年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版/個人 本体19920円＋税

電子版/個人 本体16920円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、石塚、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売・PR部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-5244-5088 FAX03-5244-5089 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/19/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook, twitter やってます！

facebook アカウントをお持ちの方は「いいね！」をお願いします。

//www.facebook.com/kangokanri1991/

twitter アカウントは、@kangokanri です。

合わせてフォローをお願いします。

//twitter.com/kangokanri